

2020 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 子どもの居場所づくり応援事業 採択事業

事業名	やまなし子どもの居場所づくり応援事業 ～活動助成による「食」のインフラ支援	
団体名	特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会	
所在地	山梨県	
事業の概要	<p>現在のコロナ禍において、こども食堂の活動は中止せざるを余儀なくされている。こども食堂の運営を行っているNPOや任意団体は、「活動の歩みを止めてはならない」と、創意工夫をし、ドライブスルー方式によるフードパントリーや 100 円弁当の提供等の活動を県下各地で展開しているところである。子どもたちの生活を支える「食」の確保が最優先課題とされるなかにおいて、食材・食品等を保管できる環境を整え、子どもたちに多様な食に触れてもらう食支援活動を継続的に実施できる仕組みづくりの必要性を実感し、「やまなし地域こども食堂グループにじいろのわ」と協働し、山梨における子どもの居場所づくりを整備していく。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	4,500,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども食堂ネットワーク団体との信頼関係があり、行政との連携が期待できる点で評価できる。</li> <li>・運搬用車両が確保されており、構想がしっかりしていると感じた。</li> <li>・山梨県内に広げるにあたり、ロジ拠点の運営体制やハブ拠点を増やすための戦略について、事業終了後も継続する仕組みになるよう検討する余地あり。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	かわさきを食でつなげる居場所支援事業	
団体名	認定 NPO 法人フリースペースたまりば	
所在地	神奈川県	
事業の概要	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言を受け、市内のこども食堂は一時的に活動を休止していたが、宣言が解除されても、再開のめどが立たずに困っているこども食堂がある。</p> <p>この事業は地域のこども食堂が開催しにくくなり、子どもたち食の機会が減少し、十分な栄養が摂取できない状況を改善するために行うとともに地域課題を整理し食のセーフティーネットを整備することを副目的とする。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,500,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者をはじめとした地域住民や活動団体からの信頼が厚く、プレーパークの運営を含め子ども達を支援してきた実績がある。</li> <li>・子どもの置かれている環境に対し食支援を通じてアウトリーチする手法を蓄積し、そのノウハウを他地域に伝播できるところが期待される。</li> <li>・かわさきこども食堂ネットワークと連携しながら事業を実施する点で評価できる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	沖縄らしい持続可能な食支援事業	
団体名	NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄	
所在地	沖縄県	
事業の概要	<p>県内には約 200 箇所の子どもの居場所が設置されているが、新型コロナウイルスの感染拡大期には約 6 割が活動休止等の措置をとったため、子どもが安心して過ごし、食事支援や学習支援等を受けることが稼働できない状況となった。生活や生命を支える「食の支援」は最も重要なことであり、様々な事情で居場所へ集う子どもたちへの食品の確保と速やかな提供は、沖縄において急務の課題である。</p> <p>本事業では子どもの居場所の中間支援団体としての役割を担う当団体が、設備を充実させることで安心安全を確保しながら保管と配送を行うとともに、食品の取扱い量を増やすことで食品を必要とされる子どもの居場所へ届ける仕組みを構築していく。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	4,300,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他フードバンク団体との連携や、子ども支援団体への物資提供の実績がある。沖縄の南北を繋ぐ協議中の物流システム構想があるなど、実効性が高いと感じた。</li> <li>・対象地域の貧困率が高く、地域的な緊急の必要性からも整備が望まれる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	フードバンク愛知 愛知・三重・岐阜ネットワーク協同デポ	
団体名	特定非営利活動法人フードバンク愛知	
所在地	愛知県	
事業の概要	<p>フードバンク愛知、愛知、三重、岐阜子ども食堂ネットワーク協同デポの実現、スーパーマーケットに支援いただき、今まで取扱い不可能だった冷凍食品を含む他食品を各子ども食堂をデポ化して配布。食品は、各子ども食堂が集荷、管理する。フードバンク愛知が、それらを請負い、冷凍・冷蔵庫を貸与、こども食堂ネットワークを通す連携をとることで、子ども食堂デポ化が実現する可能となる事業。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,300,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに東海三県で活動を開始しており、スキームが確立されつつある点で期待できる。</li> <li>・冷凍冷蔵庫設置団体との連携が既にあり、着実な実施が可能である。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	「共食」からつながる子ども居場所創り事業	
団体名	特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州	
所在地	長野県	
事業の概要	<p>年間3万人と言われる自殺が日本の社会問題となり、長野県は教育県でありながら自殺率は高く、特に、未成年の自殺率が全国ワーストと言われ、更に多発する災害や新型コロナ禍の影響が、子どもや生活弱者にしわ寄せが及んでいます。</p> <p>子どもたちの支援の場である「こども食堂」も、コロナ禍『3密』回避をした場作りが急務です。その為に、フードパントリーを活かした、「共食」からつながる「子ども居場所創り」を展開します。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,500,000
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな団体との連携や実績があり、実効性が高いと感じた。</li> <li>・県内5地域と連携してロジシステムを構築することで、県内のこども食堂にリーチすることができるようになる。</li> <li>・対象地域の自殺率の高さや豪雨災害被害といった課題から、地域性からも整備が望まれると感じた。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	神奈川県西部（静岡含）子ども食堂支援事業 ～常温食品・冷凍食品の安定供給網の確立～	
団体名	特定非営利活動法人報徳食品支援センター	
所在地	神奈川県	
事業の概要	神奈川県西部を縦断する国道255線沿いで稼働している150坪ほどの当フードバンク「報徳食品支援センター」には、すでに2坪ほどのパネル式冷凍庫が配備されており、常温品と冷凍品による食品配布事業が稼働している。そこを軸にして、東は平塚市、北は秦野市、西は静岡県富士市までの「子ども食堂」約60か所をカバーする冷凍冷蔵品の食品支援網を構築する。	
事業期間	1年	
助成額	助成金	3,700,000円 (直接事業費 2,960,000 管理的経費 740,000)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県西部の子ども食堂等に支援物資を届けることができる有効なデリバリー機能を持っている。</li> <li>・食料支援との繋がりが薄い地域の子ども食堂を探して繋がろうとしており、支援を届けるネットワークづくりに積極的であると思われる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	熊本食の物流ネットワーク整備プロジェクト	
団体名	子どもから地域へ拡がれネットワーク	
所在地	熊本県	
事業の概要	<p>①熊本市内に寄付食材等を受け入れる熊本市のロジ拠点、県内の玉名・阿蘇・天草・八代・球磨等の地域にハブ拠点を設けるとともに、ハブ拠点から地域のこども食堂に冷凍 冷蔵 常温などすべての食材を届けることができる仕組みづくりを行う。</p> <p>②衛生管理等の研修や企業等との意見交換等を開催。</p> <p>③熊本県としては初めてとなる、子ども食堂コーディネーターの配置を行う。各子ども食堂運営者がより安心して運営ができる体制を作る。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	3,700,000円 (直接事業費 3,200,000 管理的経費 500,000)
審査コメント	<p>・現在は熊本県内の団体との繋がりが活動の中心であるが、北九州・沖縄と連携して広域な九州地域の中央部分の物流を担う意欲がある。</p> <p>・事務局の事業推進体制に若干の弱さを感じるが、こども食堂サポートセンター北九州のアドバイザー的な関わりがあり、適切な指南を受けながら事業を推進できることが期待できる。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	日高・胆振子ども食堂等ネットワークの構築プロジェクト	
団体名	特定非営利活動法人ゆめみ〜る	
所在地	北海道	
事業の概要	<p>特定非営利活動法人ゆめみ〜る建屋別館に大型冷凍庫、食材保管ラック、作業テーブルなどを設置するスペースを確保してロジ拠点として運用します。</p> <p>特定非営利活動法人ゆめみ〜る建屋別館に冷凍ストッカーを設置して登別・白老エリアの HUB 拠点を運用します。</p> <p>室蘭市、苫小牧市、伊達市、新ひだか町に冷凍ストッカーを設置して HUB 拠点とし、近隣エリアの子ども食堂等の 共有食材保管拠点を運用します。</p> <p>ロジ拠点－HUB 拠点間の食材配送を行います。</p> <p>日胆食堂ネットワークへの参加食堂・団体の獲得を行います。</p> <p>新規に子ども食堂等の立上げを検討している個人、団体の支援を行います。</p> <p>食材の寄贈元開発を行います。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	3,700,000 円 (直接事業費 3,056,500 管理的経費 643,500)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードバンクいぶりがおこなっていた西いぶり圏での子ども食堂支援を「ゆめみ〜る」で継承し、いぶり地域から日高地域へと活動を広げる意欲がある。物流において距離が課題となる北海道でのロジ・ハブネットワークの拡大が期待できる。</li> <li>・社会福祉協議会、社会福祉施設と連携し、より困っている層への支援も考えている。</li> <li>・「ゆめみ〜る」には長年の活動実績があり、信頼性の高い理事ら関係者からの事業への協力・助言があると思われる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	あきたのこどもを「食」で応援 食糧支援・食材提供の拠点整備	
団体名	特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ	
所在地	秋田県	
事業の概要	<p>秋田県の相対的貧困率が高く、ひとり親の貧困率も高い。親が貧困であるということは、そのこどもも貧困である。行政の貧困対策の取り組みもスピード感を感じられない。対策の遅れも問題だが、子ども食堂の実施数も全国最下位。こども食堂ネットワークもいつまでも立ち上がらない。困窮世帯への支援もバラバラで一貫性がないことから、本格的な秋田県こども食堂ネットワークを設立するためのネットワークづくりを設立し、情報発信、情報共有、食品提供、こども食堂を始めたい人へのノウハウ、相談を行い、本格的なネットワーク構築のための準備を行いながら、こども食堂が地域に果す役割、居場所、安心できる場として必要であるということを訴えながら、こども食堂を増やしていきたい。それと同時に食糧支援・食材提供の拠点整備をし、秋田県内のこども食堂、居場所事業への支援をしていく。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	3,700,000円 (直接事業費 3,040,000 管理的経費 660,000)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺率の高さや子どもの進学率の低さ等秋田県の地域性を踏まえ、貧困から派生する様々な課題に対して事業をおこなっている。</li> <li>・支援につながりにくい人達のニーズを拾うために相談しやすい場を多数設ける等の工夫がされており、支援者の強い思いを感じた。</li> <li>・6年前から開始したフードバンク事業のノウハウを通じて、親子食堂の食糧支援をおこなっている。冷凍・冷蔵品を扱うことができるようになれば、これまで断っていた冷蔵・冷凍の寄贈食品を受け取ることができるようになる。</li> <li>・食品を宅配ではなく、流通にのせてシェアする仕組みも並行して検討・構築されていくことが望まれる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	中間拠点整備及び冷凍/冷蔵ストッカー貸与事業	
団体名	特定非営利活動法人埼玉フードパントリーネットワーク	
所在地	埼玉県	
事業の概要	<p>■中間拠点整備事業</p> <p>ねらい：現状の中間拠点の問題を解消することで、全ての中間拠点が物流ハブ拠点として機能することを目指す。</p> <p>①食品保管庫の設置、対象：見沼中間拠点・川口中間拠点</p> <p>ねらい：不足する保管スペースの確保と、独立した倉庫機能を持つことで利用時間の制約等を解消する。</p> <p>②冷凍/冷蔵庫の設置、対象：見沼中間拠点・川口中間拠点</p> <p>ねらい：現在中間拠点で唯一冷凍/冷蔵庫が無い見沼中間拠点に冷凍/冷蔵庫を新設し、容量不足となりつつある川口中間拠点へ増設することで、全ての中間拠点が物流ハブ拠点として機能することを目指す。</p> <p>■冷凍/冷蔵ストッカー貸与事業</p> <p>ねらい：購入予算の都合で冷凍庫を保有していないパントリーに対し無償貸与することで、冷凍食品の配布を可能とする。全てのパントリーで冷凍食品が配付できることを目指す。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	3,698,000円 (直接事業費 3,650,000 管理的経費 48,000)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県内の43団体とのネットワークがあり、県内全域のフードパントリー、子ども支援団体への物資提供の実績がある。</li> <li>・事業ビジョンが明確。将来的にフードパントリーのニーズがより高まることを想定して継続的な戦略を持っており、6カ所の中継拠点を機能させるネットワークの実効性は高いと思われた。</li> <li>・今回の事業では県内の中継拠点の整備に重点が置かれているが、食品を提供する企業の利便性を考えると、埼玉県の総合的なロジ拠点が整備されることが期待される。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	麒麟のまち地域食堂ネットワーク拠点整備プロジェクト	
団体名	鳥取市地域食堂ネットワーク	
所在地	鳥取県	
事業の概要	<p>鳥取市と周辺4町、兵庫県2町で「麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成し、圏域における地方創生の充実・発展を図り、圏域全体の活性化・持続的発展を目指した取組が進められている。</p> <p>鳥取市地域食堂ネットワークは、この麒麟のまちづくりの取組と連動し、様々な機能をもつ「地域食堂」の取組を住民の生活圏域において展開することで、子ども・高齢者・障がい者をはじめ多様な人たちが住みやすい魅力のあるまちづくりを目指している。</p> <p>本プロジェクトは、中核都市に集中する企業をはじめとする社会資源により得られる支援等を広域的に活用し、さらに近隣町のそれぞれの強みを生かした効果的な支援の仕組みづくりとなる。地域食堂の継続的・安定的な運営のためには豊富な食材の確保が必要であり、それを管理・活用するロジ拠点とハブ拠点の整備を図っていくものである。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	2,000,000円（※申請金額） （直接事業費2,000,000 管理的経費0）
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産品や海産品を製造している地元の企業への働きかけを想定している。</li> <li>・経済圏として繋がり深い鳥取市と周辺4町、兵庫県2町の行政のネットワークが確立していて、ロジ・ハブネットワークの基盤として安定した関係性が見込める。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております